

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者様もしくは患者様の代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	切除可能膵癌に対する術後早期再発予測法の確立により術前治療適応の選別が可能である			
2. 対象患者	2005年1月から2019年12月まで弘前大学医学部附属病院で手術治療をお受けになられ、初診時切除可能膵癌と診断された178名の患者様			
3. 対象となる期間	2005年1月1日      ~      2019年12月31日			
4. 実施診療科等	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	石戸 圭之輔	所属	弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	膵癌の予後は一般的に不良ですが、切除可能膵癌に分類される群は手術による長期生存を期待できます。しかし、その中でも術後早期に再発を来し、十分な生存期間が得られない患者様もいらっしゃいます。これは切除可能と診断される中にも、極めて悪性度の高い膵癌が含まれていることを意味しています。この研究は、このような悪性度の高い膵癌を治療開始前に予測し、不必要な手術を避け、より適切な治療を患者様に提供する意義を持っています			
8. 研究の目的	この研究は、治療開始前に術後6か月以内の早期再発を予測する方法を確立することを目的としています。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	この研究では、項目2記載の対象患者様の診療録より、臨床所見、手術所見、術後所見等を詳細に検討し、術後6か月以内に再発を来す因子を明らかにします。これら因子を用いて術後6か月以内早期再発の予測方法を確立させます。			
10. 個人情報の保護	患者様個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。			
12. 連絡先	弘前大学附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 石戸圭之輔			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080